

平成29年度 一般社団法人日本家政学会

色彩・意匠学部会報

No. 14

発行日 平成30年3月31日
発行人 一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室(井澤)
TEL:03-3262-2749 FAX:03-3262-2174(代)

包装・容器技術研究所

《平成29年度総会報告》

平成29年5月27日(土) 奈良女子大学(日本家政学会第69回大会会場)において、「平成29年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議事

平成28年度事業報告

1. 総会

平成28年5月28日(土)
金城学院大学
(日本家政学会第68回大会会場)

2. 役員会

平成28年5月28日(土) 金城学院大学
平成28年8月22日(月)
イトーキ東京イノベーションセンター
平成29年3月4日(土)
テキスタイル・マテリアルセンター

3. 連絡懇談会

平成28年8月22日(月)
イトーキ東京イノベーションセンター
(夏季セミナー会場)

4. 平成28年度夏季セミナー

平成28年8月22日(月)・23日(火)
会場:イトーキ東京イノベーションセンター

<プログラム>

●8月22日(月)公開講演会

イトーキ東京イノベーションセンター
講演1「デザイン案が容器になるまで」
ライオン(株)研究開発本部

副主席研究員 中川 敦仁 氏

講演2「協創するワークスペースのデザイン」

(株)イトーキ 先端研究統括部

統括部長 大橋 一広 氏

講演3「アジアにおける色彩文化比較と日本の色」

日本カラーデザイン研究所

プロジェクト推進部 副部長 滝沢 真美 氏

●8月23日(火)見学・体験

見学1 イトーキ東京イノベーションセンター
SYNQA

見学2 道明組紐 本店ギャラリーと工房
実習 道明組紐

5. 情報交換会

平成28年8月22日(月) レストラン ルシェクリ

6. 共同研究打ち合わせ

平成28年8月22日(月) レストラン ルシェクリ

7. 平成28年度春季セミナー

平成29年3月4日(土)
テキスタイル・マテリアルセンター
テーマ『テキスタイルデザインにおける高品質な
モノづくり』

講演1「ブランドを支える独創的な素材企画」

講師 FDC匠ネットワーク会長

有限会社カナーレ代表取締役社長 足立聖 氏

講演2「デザイナーブランドにおけるジャカード織物の企画」

講師 岐阜県毛織工業組合副理事長

株式会社イワゼン代表取締役社長

岩田善之 氏

講演3「ファッションデザイナーとして東北コットンプロジェクトに関わって」

講師 服飾研究家・ファッションデザイナー
 有限会社プロトン陽子のDESIGN
 伊藤陽子 氏
 見学 テキスタイル・マテリアルセンター

8. 平成28年度役員構成

部会長 : 蒲池香津代
 副部会長: 小町谷寿子、畑久美子
 常任委員:
 <監事>武井玲子、橋本令子
 <庶務>大澤香奈子、内藤章江、畑久美子
 <会計>井澤尚子、佐々木由美子
 <会報>戸田賀志子、鳥海薫、稲垣有美子
 <夏季セミナー>蒲池香津代、佐々木由美子
 鳥海薫、内藤章江、畑久美子
 <春季セミナー>石原久代、小町谷寿子
 橋本令子、鷺津かの子
 <共同研究>石原久代、井澤尚子
 <ホームページ>花田美和子、難波めぐみ
 <顧問>芦澤昌子、橋喬子

9. 平成28年度会計報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	82,712	通信費	7,717
		消耗品費	0
部会費	29,000	HP使用料	5,466
セミナー会費	287,300	セミナー開催費	455,719
活動助成金 (学会本部より)	178,524	印刷費	0
財務活動支出(前年度定期預金解約)	90,102	投資活動支出 (定期預金)	90,110
雑収入(利息等)	8	支払い負担金 (振込手数料等)	216
		次年度繰越金	108,418
合計	667,646	合計	667,646

以上の報告通り相違ありません。

監事 武井 玲子 印 (平成29年4月7日)
 橋本 令子 印 (平成29年4月7日)

平成29年度事業計画

1. 総会

平成29年5月27日(土)
 奈良女子大学
 (日本家政学会第69回大会会場)

2. 役員会

平成29年5月27日(土) 奈良女子大学
 平成29年9月3日(月) 信州大学
 平成30年2月24日(土) 東京家政学院大学

3. 連絡懇談会

平成29年9月3日(日)(信州大学)

4. 平成29年度夏季セミナー

平成29年度色彩・意匠学部会夏季セミナーは日本家政学会第2回家政学夏季セミナーへの企画参加をもって代えた。

5. 情報交換会

平成29年9月3日(日)(門前茶寮 弥生座)

6. 共同研究打ち合わせ

平成29年9月3日(日)(信州大学)

7. 平成29年度春季セミナー

平成30年2月24日(土) 10:30~16:00
 東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
 テーマ 『今に生きる江戸東京の技・色・デザイン』
 講演1 「浮世絵にみる幕末から明治初期の色彩とデザイン」
 講師 共立女子大学名誉教授 伊藤紀之 氏
 講演2 「西欧の近代デザインとジャポニスム」
 講師 愛国学園短期大学講師 畑久美子 氏
 体験 「江戸銀細工の解説および体験」
 講師 (有) 日伸貴金属(伝統工芸士)
 銀師 上川宗照 氏 他

8. 平成29年度役員構成

部会長 : 石原久代
 副部会長: 畑久美子、花田美和子
 常任委員:
 <監事>武井玲子、橋本令子
 <庶務>大澤香奈子、小町谷寿子
 <会計>佐々木由美子、内藤章江、
 *井澤尚子(兼事務局)
 <会報>戸田賀志子、鳥海薫、稲垣有美子
 <夏季合同セミナー>石原久代、井澤尚子
 (当日)小町谷寿子、花田美和子、鷺津かの子
 <春季セミナー>井澤尚子、内藤章江、畑久美子
 <共同研究>石原久代、井澤尚子

<ホームページ>難波めぐみ、鷺津かの子
 <顧問>芦澤昌子、橘喬子

9. 平成29年度予算案

平成29年4月1日～平成30年3月31日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	108,418	通信費	18,000
平成29年度部会費	28,000	消耗品費	5,000
セミナー等開催費	60,000	印刷費	5,000
助成金(本部より)		会議費	3,000
		セミナー等開催費	60,000
		HP関連費	6,000
財務活動支出	90,110	雑費	1,000
		財務活動支出(定期預金)	90,110
		次年度繰越金	98,418
合計	286,528	合計	286,528

平成29年度総会議事録

日時：平成29年5月27日(土)
 12時00分～13時00分

場所：奈良女子大学 N棟
 2階 201 D会場

司会：副部長 畑 久美子

出席者数：部会委員13名、非会員1名 委任状14名

I. 閉会の辞

畑副部長より閉会の辞が述べられた。

II. 部長挨拶

石原部長より挨拶がなされた。

III. 議長選出

議長に畑副部長が選出された。

会議に先立ち出席者・委任状の数を確認され、定足数に達し、本総会が成立する旨が報告された。

IV. 議事

第1号議案 平成28年度事業報告承認に関する件

大澤委員から平成28年度の事業報告があり承認された。

第2号議案 平成28年度会計報告承認に関する件

井澤委員から平成28年度の会計報告があり承認された。

第3号議案 平成28年度会計監査報告

橋本委員から平成28年度の会計監査報告があった。

第4号議案 平成29年度事業計画(案)承認に関する件

小町谷委員から平成29年度事業計画(案)が報告され、承認された。

第5号議案 平成29年度予算(案)承認に関する件

井澤委員から平成29年度の予算(案)が報告され、承認された。

第6号議案 平成29年度役員報告に関する件

石原部長より、平成29年度は4月より新役員を始動させるため、3月4日開催の臨時総会にて新役員が承認されたことが報告された。

VI. 平成29年度部会研究について

石原委員と井澤委員から現在進められている2つの部会研究についてそれぞれ進捗状況と今後の展開について報告された。石原委員が中心となっているユニバーサルカラーデザインについての部会研究は今年度の年次大会での発表で完了し、論文としてまとめていく。井澤委員を中心とした研究は、これまでの結果をもう少し掘り下げて研究し、今後発表していく予定である。

VII. 平成29年度夏季セミナーについて

石原部長より「第2回家政学夏季セミナー2017」の詳細な内容、スケジュール等が説明された。

VIII. その他

井澤委員より平成28年度会報13号1ページと6ページの記載内容について、4月から事務局連絡先である井澤委員の研究室番号が1808から1704に変更したこと、部会費振込先の口座番号は現行のままであることが報告された。

IX. 閉会の辞

畑副部長より閉会の挨拶がなされた。

《 夏季セミナー報告 》

平成29年度は、「一般社団法人日本家政学会第2回家政学夏季セミナー」が開催され、実行委員会は日本家政学会の被服構成学部会、被服衛生学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学学部会の4部会で編成された。セミナーの総合テーマは昨年度に引き続き“生活の質的向上を目指す家政学の世界”で、本年度のテーマは“オリンピック・パラリンピックがつなぐユニバーサル衣料の未来”であった。会場は長野市の信州大学教育学部で、平成29年9月3日(日)～4日(月)に2日間の日程で開催された。セミナーには90名を超える参加者があった。

第1日目は各部会の企画講演会が2会場で行われた。総合スポーツメーカーの研究者、服飾史家、映像制作者をはじめ、各界でご活躍の6名の講師の方々から、オリンピック・パラリンピックに関連するご講演をいただいた。講演後は、それぞれの部会企画(被服衛生学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学学部会、被服材料学部会、被服構成学部会)が行われた。

第2日目は公開講演会が開催された。ユニバーサルデザインをキーワードに、ロボティクスやカラーユニバーサルデザインなど4名の専門家を講師に招き、シンポジ

ウム、パネルディスカッションが行われた。

お昼には全体情報交換会がフジヤ御本陣で行われ、格式のある会場で美味しい昼食をいただいた。とても和やかな雰囲気であった。

午後のエクスカージョンは、信州大学繊維学部 Fi、上田を訪ねるコース、真田十萬石の城下町松代見学コースの二手に分かれ、初秋の信濃路を満喫した。

<プログラム内容>

●9月3日(日) 企画講演会

会場：信州大学教育学部

12:30～ 総合受付

*《信州大学教育学部 E504 教室》

13:25～13:30 開会挨拶

13:30～14:20 「脊椎損傷者の体温調節と循環調節」
奈良女子大学 芝崎 学 氏

14:20～15:10 「暑さ対策/障がいを持つアスリートとの協創、について -2020 東京 op/pp へ向けての提案-」
ミズノ(株)研究開発部
技術戦略推進室 荻野 毅 氏

15:10～15:25 休憩(コーヒープレイク)

15:25～16:15 「アパレル三次元テクノロジーを活用したスポーツ衣料開発とシンクロする日常衣料開発」
(株)ミズーラ 代表取締役
佐々 浩司 氏

*《信州大学教育学部 N201 教室》

13:25～13:30 開会挨拶

13:30～14:20 「オリンピック日本代表選手団開会式用ユニフォームの歴史 -『日の丸カラー』の誕生と継承に注目して-」
お茶の水女子大学他 非常勤講師
安城 寿子 氏

14:20～15:10 「近代女性スポーツファッションの変遷 -スポーツと装いの愉しみ-」
梅花女子大学 好田 由佳 氏

15:10～15:25 休憩(コーヒープレイク)

15:25～16:15 「参加型の映像伝達表現としてのプロジェクションマッピング」
NODE-LAB 主宰、名古屋産業大学
河村 陽介 氏

*《信州大学教育学部 E504、N102、N103、N104、N201 教室》

16:30～ 部会企画

●9月4日(月) 公開講演会

会場：信州大学教育学部 E504 教室

9:00～9:30 基調講演 1 「ユニバーサル仕様の衣料設計を考える」

9:30～10:10 京都女子大学 諸岡 晴美 氏
基調講演 2 「医療福祉用ロボティクウェア curare® の開発と展望」
信州大学 橋本 稔 氏
10:10～10:30 「利用者主体のファッション支援 -誰もがおしゃれを楽しむために-」
金城学院大学 平林 由果 氏
10:30～10:50 「カラーユニバーサルデザイン」
日本女子大学 佐川 賢 氏
10:50～11:20 パネルディスカッション
11:40～13:00 全体情報交換会(フジヤ御本陣)
13:10～ エクスカージョン
(13:10～17:30) 信州大学繊維学部 Fi、上田、見学コース
(13:10～16:30) 真田十萬石の城下町松代見学コース

以下に、色彩・意匠学部会企画の講演会、公開講演会の講演概要を記載する。

◆企画講演

「参加型の映像伝達表現としてのプロジェクションマッピング」

NODE-LAB 主宰、名古屋産業大学
河村 陽介 氏

河村氏は「NODE-LAB」を主宰され、創作活動も行なっている映像制作者である。プロジェクションマッピングは、ここ 10 年ほどで広まった映像表現方法である。2016 年のリオデジャネイロオリンピックの閉会式では、参加型プロジェクションマッピングによる東京オリンピックの紹介が行なわれ、注目を集めた。この講演では、創作活動の事例が数多く示され、プロジェクションマッピングを“参加性”の視点でお話くださった。河村氏のワークショップでは、参加者同士の意見交換や発想・協創を行なうことが大切にされる。そして完成の喜びが共有されることや、反省点の共通認識なども、参加者にとって価値のある経験になると述べられた。

質疑応答では、被服分野の学びへのプロジェクションマッピングの応用などにも話しがおよび、今後への期待が膨らんだ、本部会企画ならではの講演内容であった。



◆公開講演

「カラーユニバーサルデザイン」

日本女子大学 佐川 賢 氏

佐川氏は、産業技術総合研究所で長年、色彩やカラーユニバーサルデザインの研究に携わってこられ、日本女子大学でも教鞭をとっておられる。本講演では、まず地図や路線図を例に、日常生活における色の役割と色情報の大切さ、スポーツ観戦等でのユニフォームや観客席にみるシンボルカラーと、選手やファンが感じる色の楽しみ方などが具体的に話された。しかし、残念ながら、こうした色情報が正しく伝わらない、利用することができない、カラーユニバーサルデザインの対象者として、高齢者、色弱者、ロービジョン者、全盲視覚障害者を挙げ、カラーユニバーサルデザイン視点による問題点や留意点が示された。さらに、それぞれに正しく色の情報を伝え、選択・識別できるようにするための、色使いのポイントやデザイン上の工夫などが分かり易く解説された。

講演後、会場の参加者からは「もう少しお話を聞きたかった。」などの声が多数聞かれた。カラーユニバーサルデザインがより身近に感じられ、理解することの大切さと関心が深まった、貴重な講演となった。



シンポジウムでのパネリストの先生方（右端佐川賢氏）

今年度は、被服系4部会企画の「第2回家政学夏季セミナー」が開催されたため、例年行なわれている色彩・意匠学部会の夏季セミナーは開催されなかった。家政学夏季セミナーの開催日も例年より遅かったため、部会員の参加が少なかったのが残念であった。しかし、セミナー第1日目の夕方は、色彩・意匠学部会の情報交換会を善光寺近くの『弥生座』で行ない、信濃料理(?)に舌鼓を打ち、少人数ながら大いに盛り上がり、楽しい時間をもつことができた。次年度の第39回夏季セミナーには、多くの部会員のご参加を願っている。そして、“今年セミナーにご参加の部会員のみなさん、ありがとうございました。”

「平成29年度一般社団法人日本家政学会第2回家政学夏季セミナー」のセミナー報告は、日本家政学会誌 Vol.68 No.12 (2017) に掲載されています。詳細は、学会誌をご覧ください。

(第2回家政学会夏季セミナー実行委員 石原・井澤)

《 お知らせ 》

平成30年度 色彩・意匠学部会
第39回夏季セミナー

平成30年度夏季セミナーは、下記の通り開催いたします。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

期 日：平成30年8月21日(火)、22日(水)

会 場：神戸松蔭女子学院大学

テーマ：デザインにみる地域性・ファッション都市神戸
(プログラム)

8月21日(火)

● 公開講演会

神戸タータン協議会会長 石田原 弘氏
神戸松蔭女子学院大学教授 徳山孝子氏

● アトリエ見学 帽子専門店マキシン
神戸トアロード本店

● 部会設立40周年記念 懇親会

8月22日(水)

● 見学会 大塚国際美術館(徳島県鳴門市)

申し込み・問い合わせ先：

〒657-0015

神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

神戸松蔭女子学院大学 都市生活学科

e-mail hana@shoin.ac.jp

TEL 078-882-6598(直通) 花田美和子

◇ 詳細は、後日案内をさし上げます。

色彩・意匠学部会 ホームページ

平成22年度より、色彩・意匠学部会のホームページを開設しております。セミナーなどへの参加申し込み方法や部会における取組の紹介やイベント情報、会報のバックナンバーなどを掲載しています。是非ご覧ください。

色彩・意匠学部会ホームページ URL

<http://shikisai-isyou.sakura.ne.jp/index.html>

色彩・意匠学部会規約

第1章 総則

第1条 本会は、一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部とする。

第2条 本会は、一般社団法人日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

1. 部会総会
2. 部会セミナー
3. 部会講習会・見学会
4. 部会研究会
5. 会報・成果の印刷物配布
6. その他、本会にて必要と認める事業

第4条 事業は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の事業計画・事業報告は、学会理事会に報告するものとする。

第3章 会員

第5条 本会は、次の構成員で組織する。

1. 正会員 原則として日本家政学会会員で、色彩・意匠学領域に関連する研究・教育に携わる者
2. 学生会員 色彩・意匠学領域に関心を持つ学生

第4章 役員

第6条 本会の運営を円滑にするために、次の役員をおく。

1. 部会長 1名
2. 副部会長 2名
3. 常任委員 20名以内
4. 監事 2名
5. 顧問 若干名

第7条 部会長の選任、解任は次の通りである。

1. 部会長は、日本家政学会会員に限る。
2. 部会長の選任は、本会会員の互選によって選出し、部会総会にて報告承認を行い、学会理事会において承認を受ける。
3. 部会長の解任は、総会にて行い、学会理事会において承認を受ける。
4. 部会長が解任された場合は、前任者の残任期間は他の役員が職務を代行する。

第8条 副部会長・常任委員・監事・顧問は、会員の互選によって選出し、総会にて承認、また、解任は総会にて行い、残任期間は他の役員が職務を代行する。

第9条 役員任期は2年とし、再選をさまたげない。

第10条 役員職務は次の通りとする。

1. 部会長は、本会を代表し、会の運営を統括する。
2. 副部会長は、部会長を補佐する。
3. 常任委員は、本会の業務を遂行し、必要に応じて業務を分担する。
4. 監事は、本会会計の監査を行う。
5. 顧問は、必要な助言を行う。

第5章 総会

第11条 本会の総会は、原則として一般社団法人日本家政学会の年次大会時に開催する。また、適宜臨時総会を開催する事ができる。

第6章 会費

第12条 本会の会費は、年額千円とする。

第7章 会計

第13条 本会の運営経費は、会費による。

第14条 会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の予算・決算報告は、学会理事会に報告するものとする。

第8章 規約の変更

第15条 部会規約の変更は、総会の議決による。本規約の変更は、総会において承認を受け、理事会に報告する。

第9章 事務局

第16条 本会の事務局は、庶務責任者または会計責任者の所属する機関内におく。

[付則]

この規約は、昭和53年4月1日より施行する。

この規約は、昭和58年8月26日より施行する。

この規約は、平成元年8月22日より施行する。

この規約は、平成15年8月28日より施行する。

この規約は、平成22年5月1日より施行する。

この規約は、平成25年5月18日より施行する。

申し合わせ事項

1. 役員職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。(付2)
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。

(付1)：部会長連絡先

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号
椋山女学園大学 生活科学部生活環境デザイン学科

石原久代

TEL：052-781-4591

e-mail：ishihara@sugiyama-u.ac.jp

(付2)：事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室 井澤尚子

(部会費振込み先) 口座番号：0014-5-389316

口座名義：色彩・意匠学部会

<編集後記> 皆様のご協力のもと、会報の発行に至りました。本年度も大変貴重なセミナーを開催して頂き特別な体験と学習をする事ができました。開催にご尽力頂きました先生方には心より感謝申し上げます。石原先生、井澤先生チームによる研究部会研究も進行中です。色彩・意匠学部会員の皆様の益々のご活躍を楽しみにしております。(担当：稲垣、鳥海、戸田)